

大阪湾再生行動計画の実施状況について

「大阪湾(生き物)一斉調査」(於:せんなん里海公園)



タカノケフサイソガニ

[高師浜]

ケフサイソガニ



生き物の同定風景 [香檳園浜]



干潮時に出現した
夙川の河口干潟 [香檳園浜]

平成21年3月5日 大阪湾再生推進会議

大阪湾の水質の概況

目標の達成状況

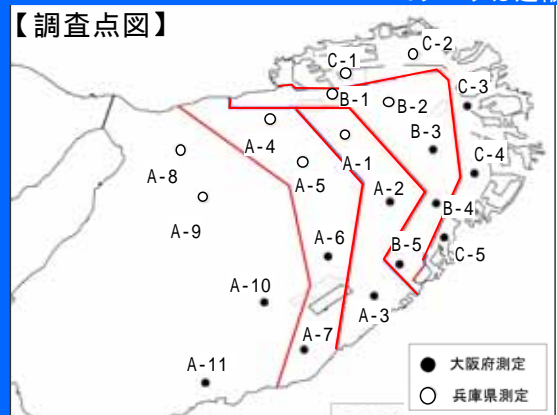
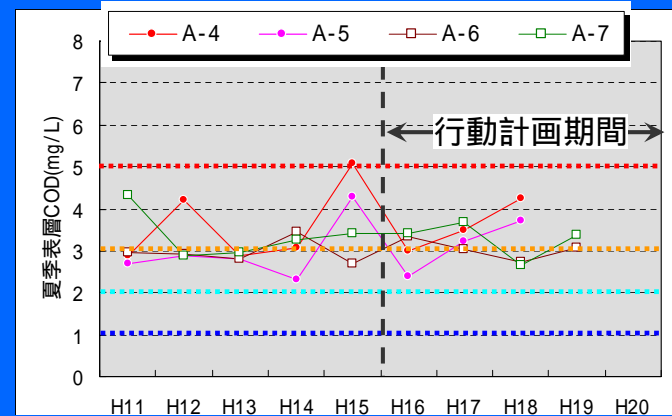
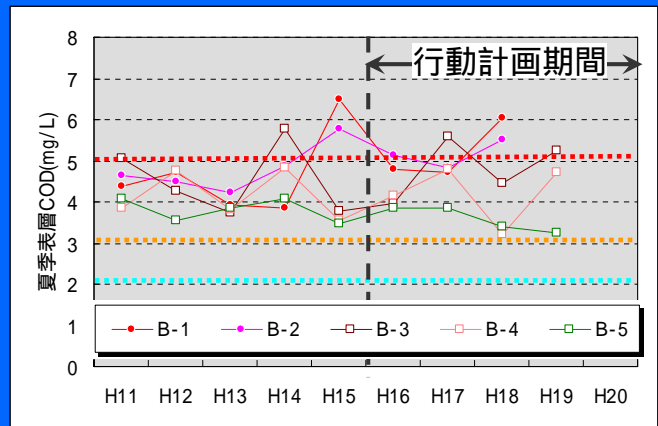
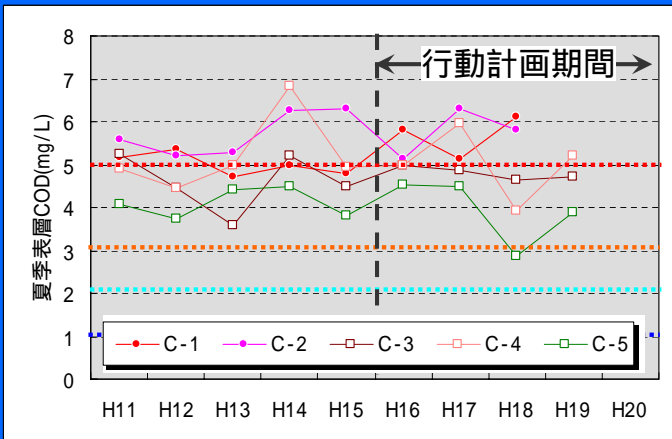
表層COD(夏季)



親水活動に適した水質レベルを示す指標である「表層COD」には、明瞭な改善傾向はみられない

目標：親水目的により「1~5mg/L」

- ・散策・展望：5mg/L以下
- ・潮干狩り：3mg/L以下
- ・海水浴：2mg/L以下
- ・ダイビング：1mg/L以下



H19データは速報値

目標の達成状況

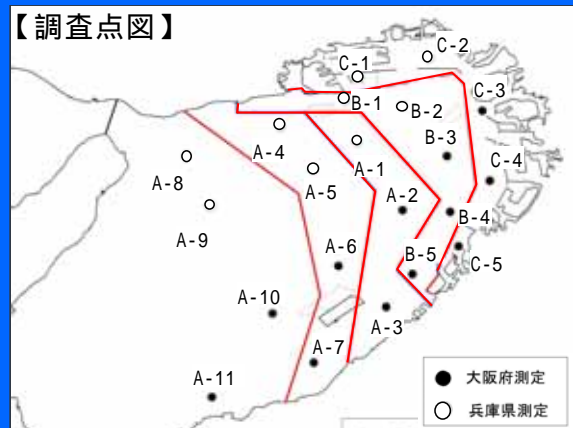
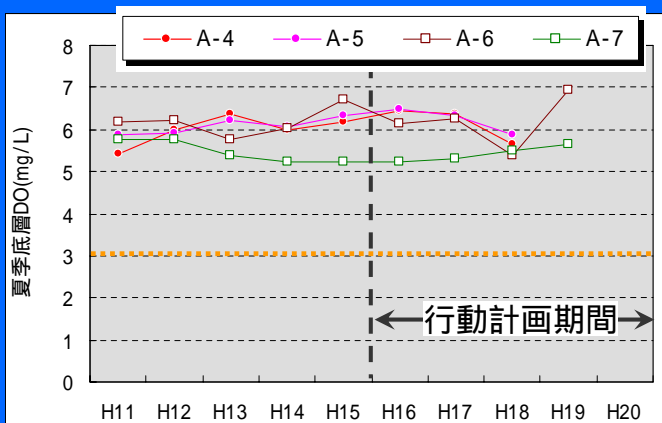
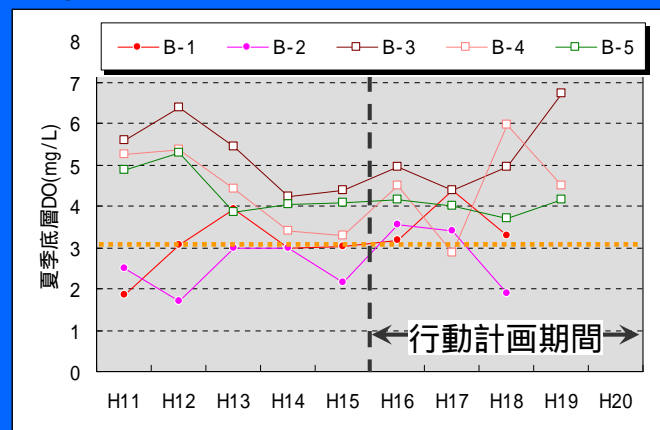
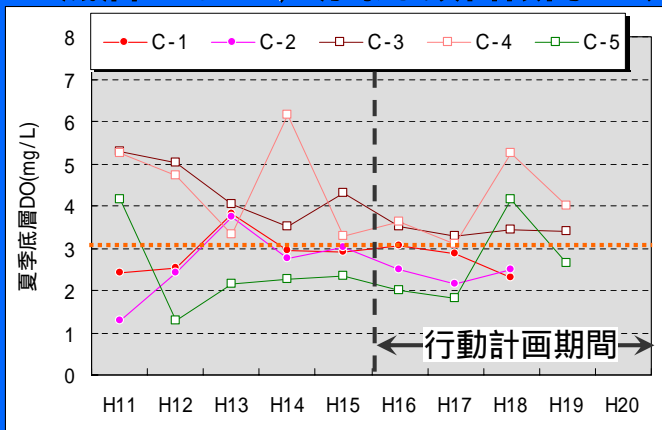
底層DO(夏季)



生物が生息できる水質レベルを示す指標である底層DOには、明瞭な改善傾向はみられない

目標

当面：3mg/L



H19データは速報値

平成20年度の主な取り組み事例

【行政機関による取り組み】

1. 水質の改善
2. 多様な生物の生息・生育場の再生
3. 親水性の向上
4. ごみ(河川・浮遊・漂着・海底)の削減
5. 大阪湾再生のためのモニタリング

1. 水質の改善

水質総量規制制度に基づく総量削減

【平成20年度の主な取り組み】

大阪湾の目指すべき水環境の目標とそのために必要な施策等について検討(閉鎖性海域中長期ビジョン策定)

第6次総量規制の今後の課題

効果的な対策の実施

・大規模事業場以外の汚濁負荷源(生活系、小規模・未規制事業場、面源系)に対する対策の実施が重要

対策効果の的確な把握(= **目標とすべき水質の設定**)

検討内容

閉鎖性水域が目指すべき水環境の主な指標の設定

底層の溶存酸素濃度(底層DO): 魚介類の生息・再生産、無生物域の解消

透明度: 海藻の生育、親水利用

今後、大阪湾等、各海域で達成すべき目標値の設定

下水道事業による排出負荷量の削減



【平成20年度の主な取り組み】

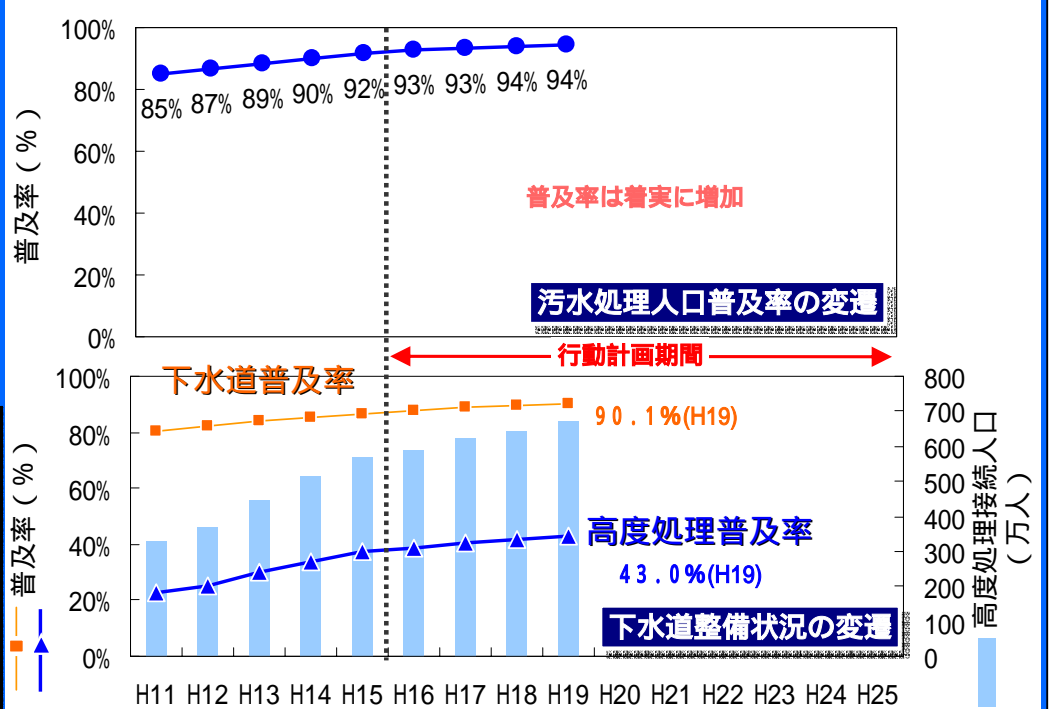
下水処理場の整備(計画4箇所)

整備中: 2箇所(なわて水みらいセンター[大阪府]、竜華水みらいセンター[大阪府])

下水処理の高度処理化(計画24箇所):

一部供用開始: 泉北下水処理場[堺市]、三宝下水処理場[堺市]

整備中: 7箇所(大阪府(4)、神戸市(1)、堺市(1)、西宮市(1))



下水道事業による排出負荷量の削減



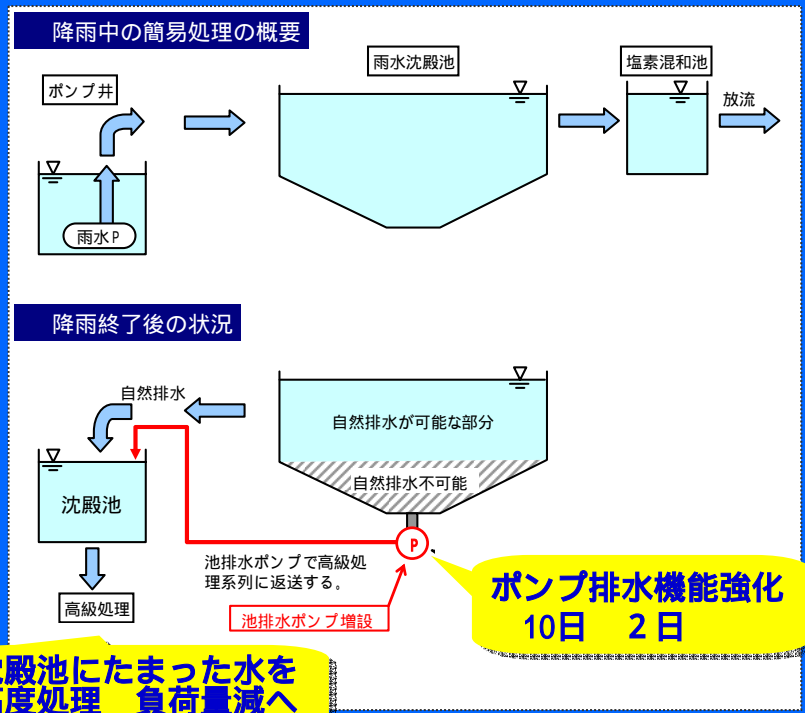
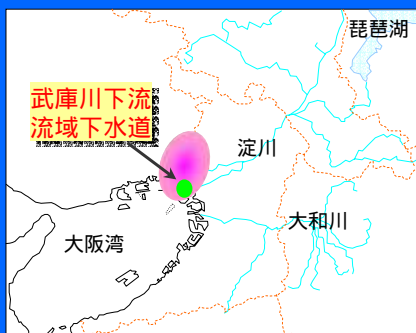
【平成20年度の主な取り組み】

行動計画期間 初

合流式下水道の改善: 武庫川下流流域下水道 完了



武庫川下流浄化センター

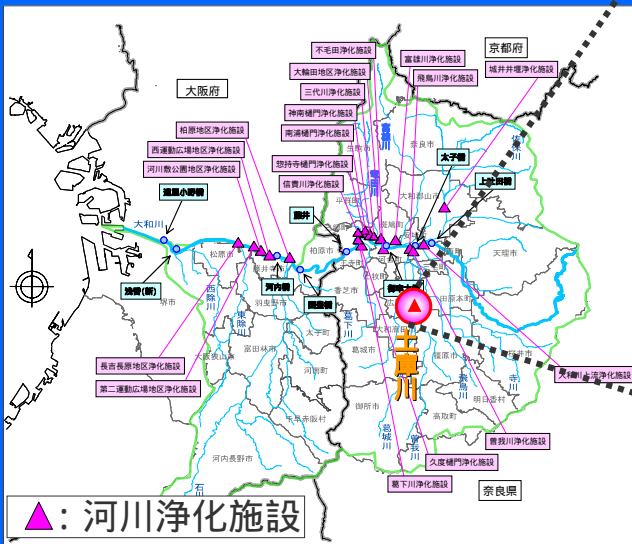


< 合流改善後の雨水処理方法 >

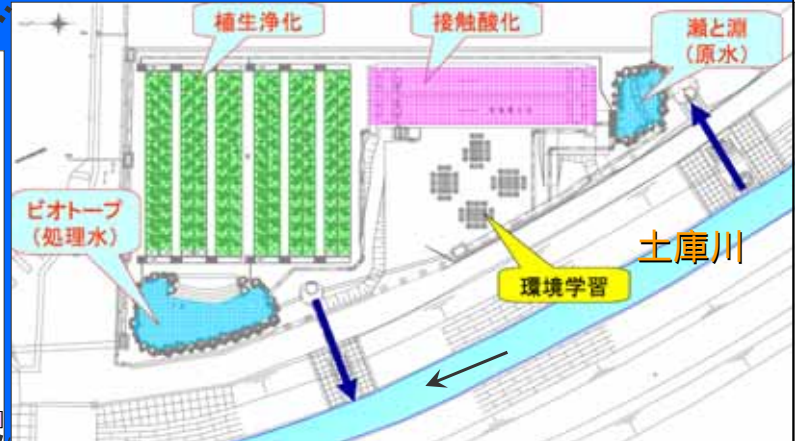
河川浄化1

【平成20年度の主な取り組み】
土庫川浄化施設 完成(大和川水系)

・浄化方法: 植生浄化、接触酸化法、瀬と湍方式



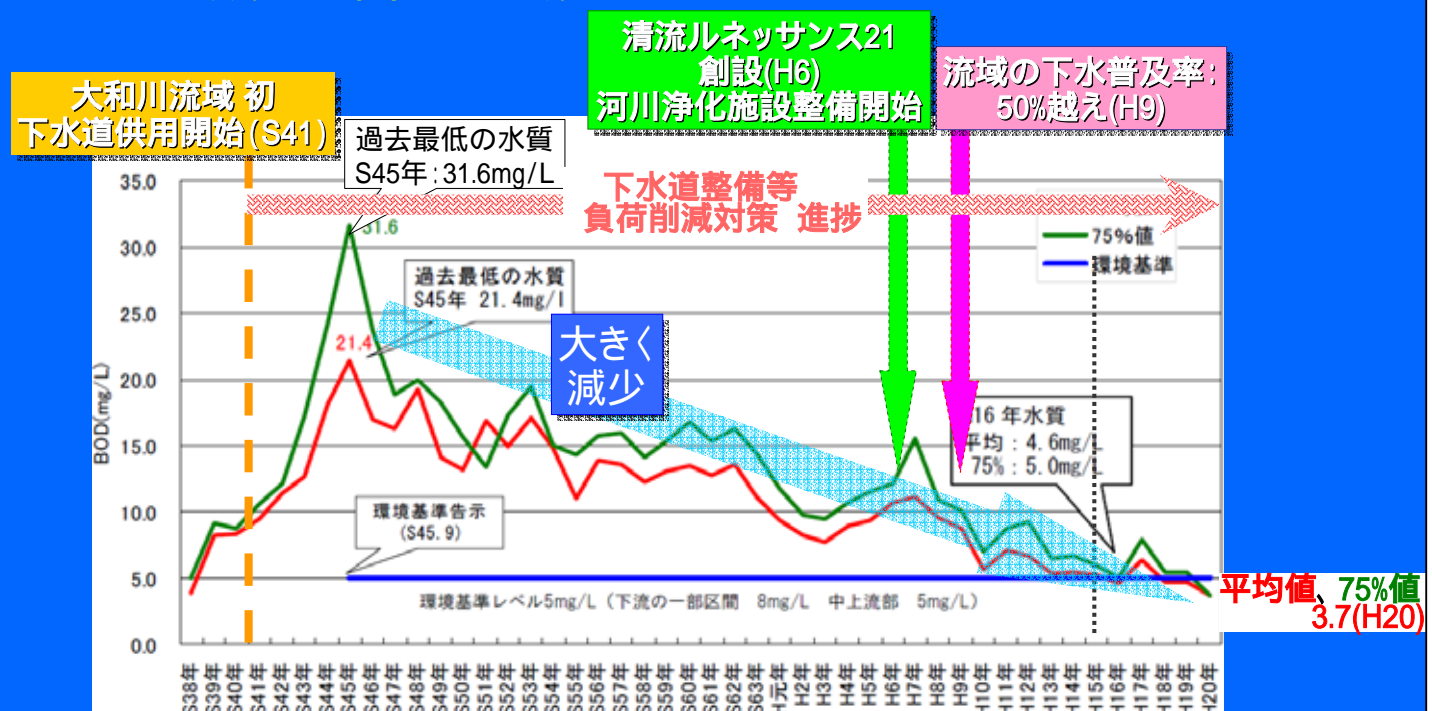
図中の河川浄化施設は直轄施設を示す。
 河川浄化施設の分布状況(大和川)



土庫川(大和川水系) 浄化施設(イメージ)

河川浄化2

大和川: 「河川浄化施設」+ 「下水道」の整備等
 H20年度の水質観測において
観測史上最も良好な水質を記録
環境基準値を達成



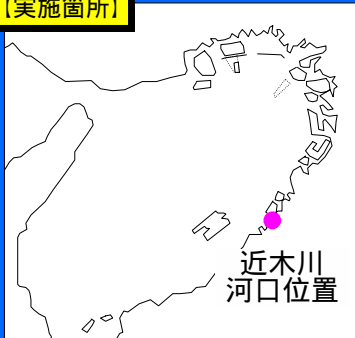
河川浄化3

近木川河口干潟の造成 < 継続 >



近木川河口干潟

[実施箇所]

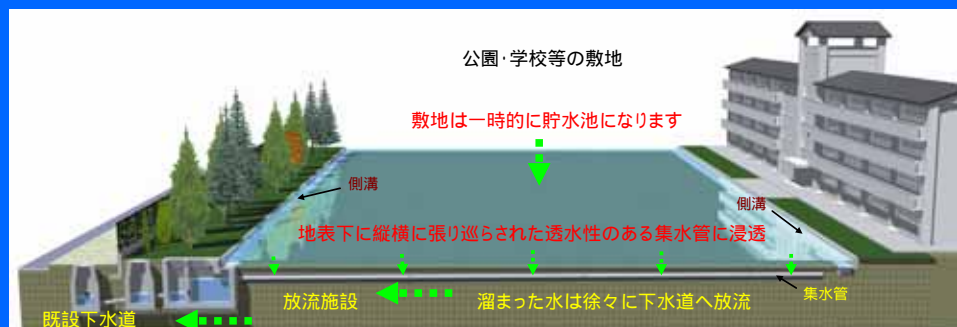


近木川河口干潟のイメージ

面源負荷対策

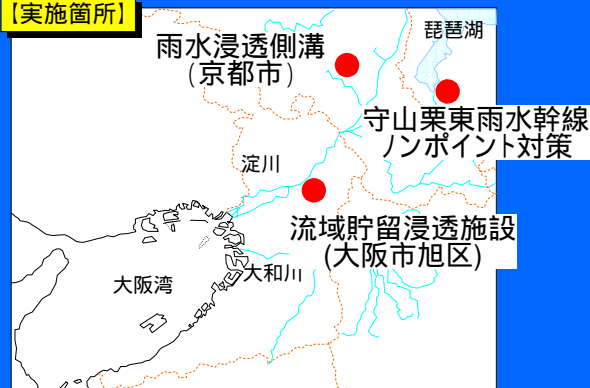
【平成20年度の主な取り組み】

流域貯留浸透施設: 旭陽中学校 (大阪市旭区) 完成
 守山栗東雨水幹線ノンポイント対策事業着手 [滋賀県]
 雨水浸透側溝整備 [京都市]



流域貯留浸透施設イメージ

[実施箇所]



平常時



雨天時 (貯留時)

貯留状況の事例

流域の森林整備



【平成20年度の主な取り組み】

「箕面体験学習の森」の設定

地域・森林ボランティアとの連携による森林整備 < 継続 >

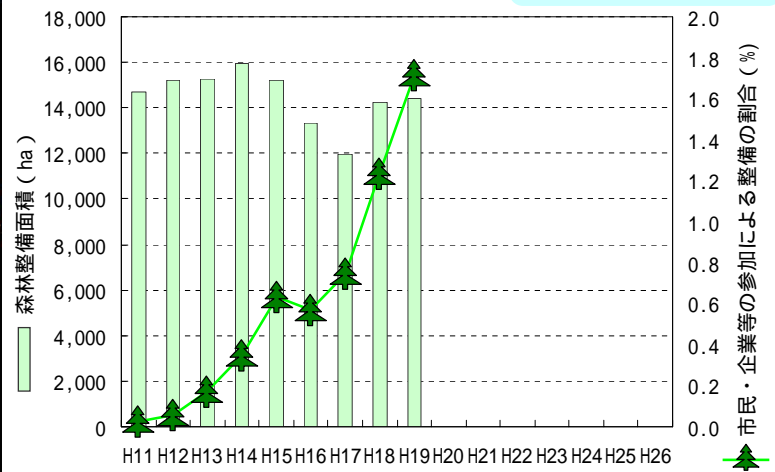
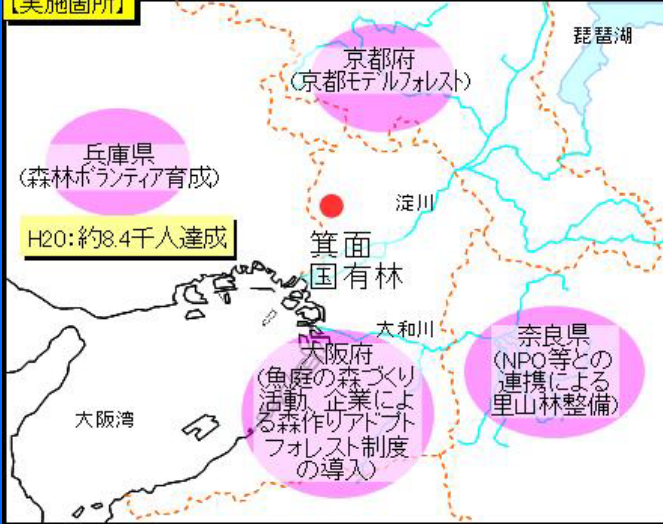
森林ボランティアとの連携による森林整備[各府県]

< 継続 >

【実施箇所】

【森林整備状況の推移】

= 参考 =
大阪湾流域内の森林面積
約475,000ha



2. 多様な生物の生息・生育場の再生



藻場・干潟等の浅海域の創出 < 干潟 >

【平成20年度の主な取り組み】

2箇所で開催中

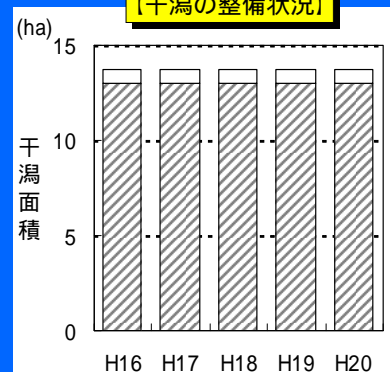
(堺泉北港堺2区[大阪府]、
泉北6区[大阪府])

【実施箇所】



堺泉北港堺第2区人工干潟(造成中)

【干潟の整備状況】



□ 計画
▨ 整備中
■ 整備完了

行動計画期間 計画面積 (ha) 13.7

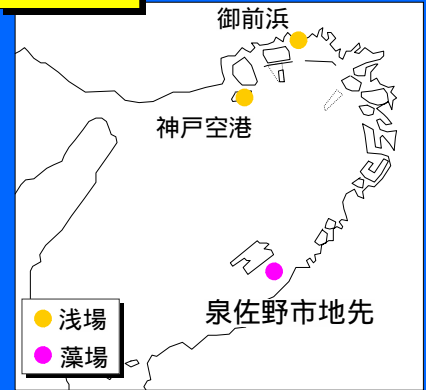
大阪湾内 現存干潟面積 (ha) 15

藻場・干潟等の浅海域の創出 < 藻場 >

【平成20年度の主な取り組み】

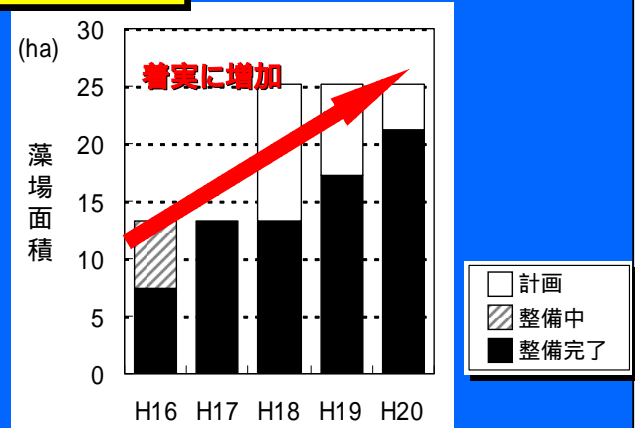
藻場完成：泉佐野地先(4ha) [大阪府]

【実施箇所】



造成藻場の状況
(阪南市地先: 造成2年後)

【藻場の整備状況】



3. 親水性の向上

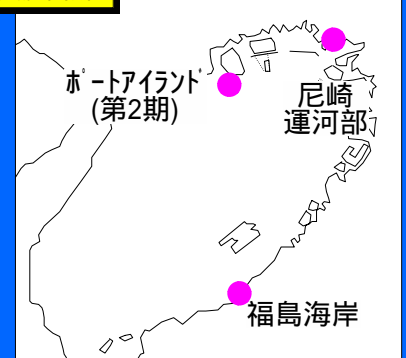
親水的な海岸線整備

【平成20年度の主な取り組み】

3箇所で開催中 < 継続 >

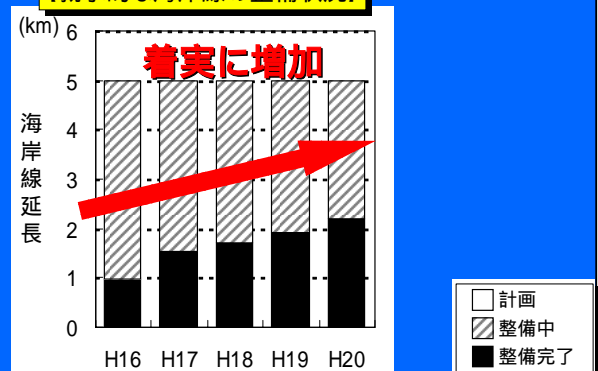
- ・ポートアイランド(第2期) [神戸市]
- ・尼崎運河部 [兵庫県]
- ・福島海岸 [大阪府]

【実施箇所】



親水的な海岸線 (尼崎運河部 北堀運河)

【親水的な海岸線の整備状況】



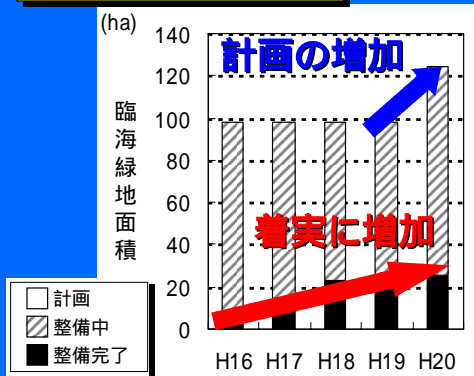
臨海部における親水緑地整備

【平成20年度の主な取り組み】

神戸空港・人工海浜背後緑地 【完成】

堺2区・基幹的広域防災拠点緑地 【新規着手】

【親水的な海岸線の整備状況】

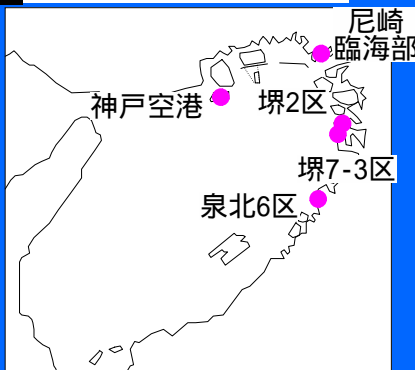


神戸空港・人工海浜周辺の様子 [H20完成]



堺2区・基幹的広域防災拠点緑地 (イメージ)

【実施箇所】



親水活動の実施

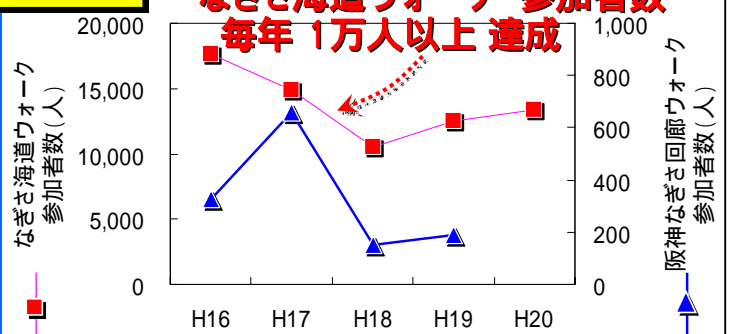
【平成20年度の主な取り組み】

「なぎさ海道」ウォーク、「阪神なぎさ回廊ウォーク」

< 継続 >

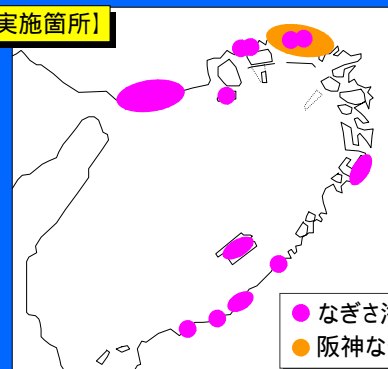
【参加者数の変遷】

なぎさ海道ウォーク 参加者数
毎年 1万人以上 達成



H20年度の「阪神なぎさ回廊ウォーク」は3月中に実施予定

【実施箇所】



- なぎさ海道ウォーク
- 阪神なぎさ回廊ウォーク



りんくう公園・マーブルビーチ

「なぎさ海道」ウォーク

4. 浮遊・漂着・海底ごみの削減

河川清掃活動

【平成20年度の主な取り組み】

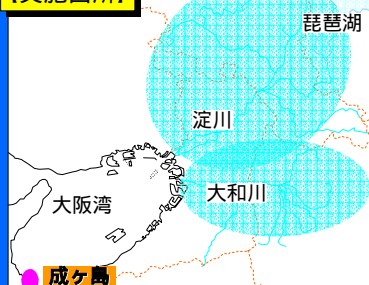
「淀川わんどクリーン大作戦」「大和川・石川クリーン作戦」等と連携した河川清掃＜継続＞



神戸港湾事務所の協力により、大阪湾や大和川のごみが漂着するといわれる淡路島東端・成ヶ島においても清掃活動を実施



【実施箇所】



大和川クリーンデー

大和川・石川クリーン作戦

河川清掃活動の様子

ごみ回収(漂着、浮遊、海底ごみ)

【平成20年度の主な取り組み】

「大阪湾クリーン作戦」「リフレッシュ瀬戸内」の実施
海洋環境整備船によるごみ回収＜継続＞
底びき漁船による海底ごみ除去＜継続＞

リフレッシュ瀬戸内

海洋環境整備船によるごみ回収



南港野鳥園

大阪湾クリーン作戦



友ヶ島(和歌山)



海洋環境整備船(Dr.海洋)

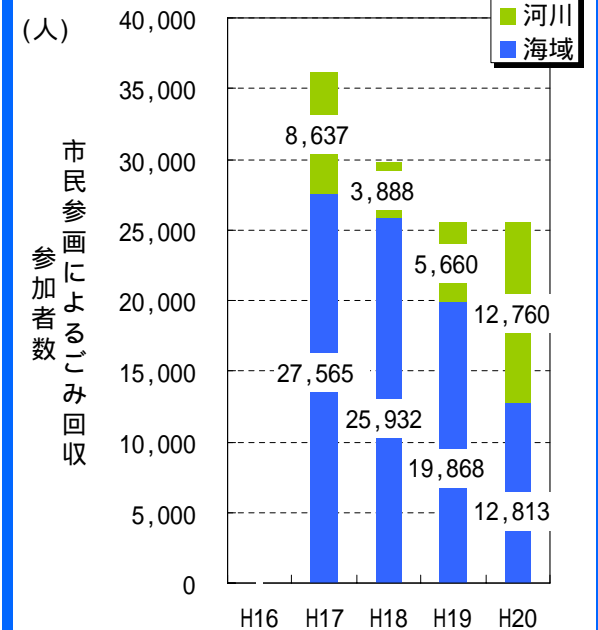
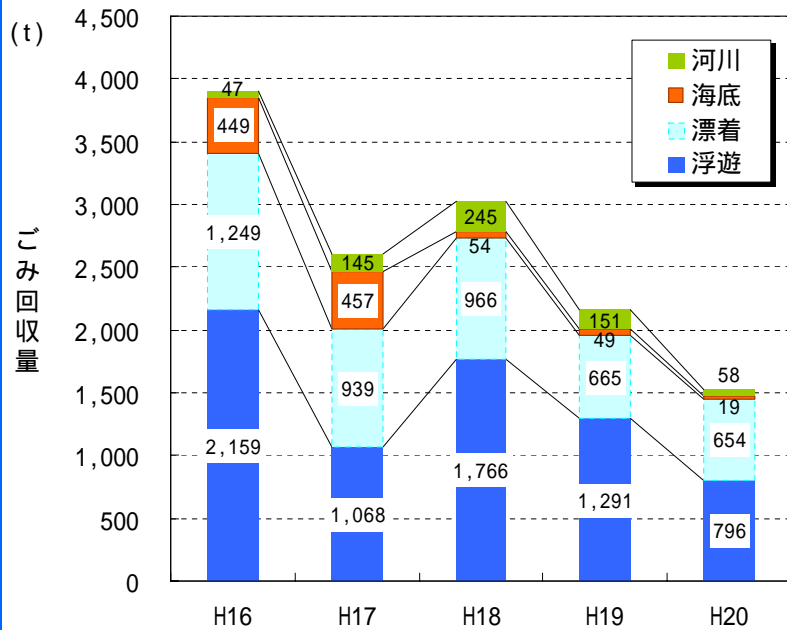


回収されたごみの例

【ごみ回収状況：行政・市民参画による回収活動】

【ごみ回収量の変遷】

【市民参画によるごみ回収 参加者数の変遷】



H16の浮遊ごみ回収量が多かったのは、台風の影響によるものと考えられる。

H16の参加者数 不明

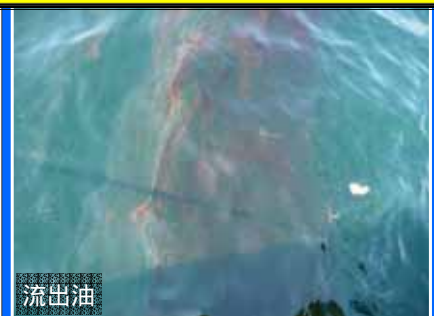
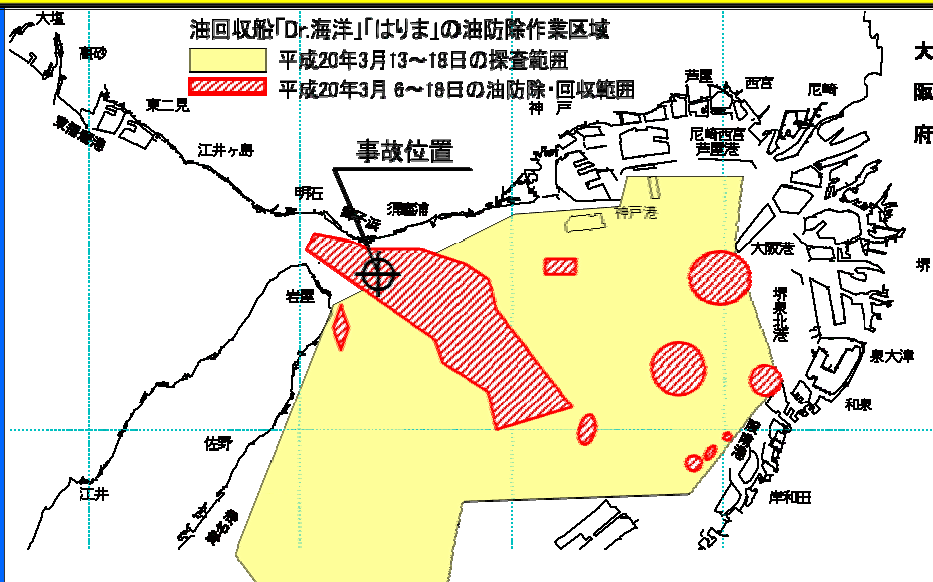
流出油の回収

・国、地元自治体等が連携し流出油の防除作業を実施

・明石海峡において発生した船舶衝突事故(H20年3月)により流出した油を回収[五管本部、近畿地整、兵庫県、神戸市、明石市、淡路市]

・流出油回収約8t その後、海水中の油検出されず

明石海峡付近海難事故 流出油回収状況(H20.3)



5. 大阪湾再生のためのモニタリング

効率的・効果的なモニタリングの実施

【平成20年度の主な取り組み】

国、沿岸府県と臨海部の事業者・企業等との連携による「大阪湾再生水質一斉調査」＜継続＞

【調査点図】



＜目的＞

- ・大阪湾全域の水質水平分布の把握
- ・効率的、効果的なモニタリングへ向けた関係機関連携によるモニタリング体制の検討

＜実施日＞平成20年8月5日

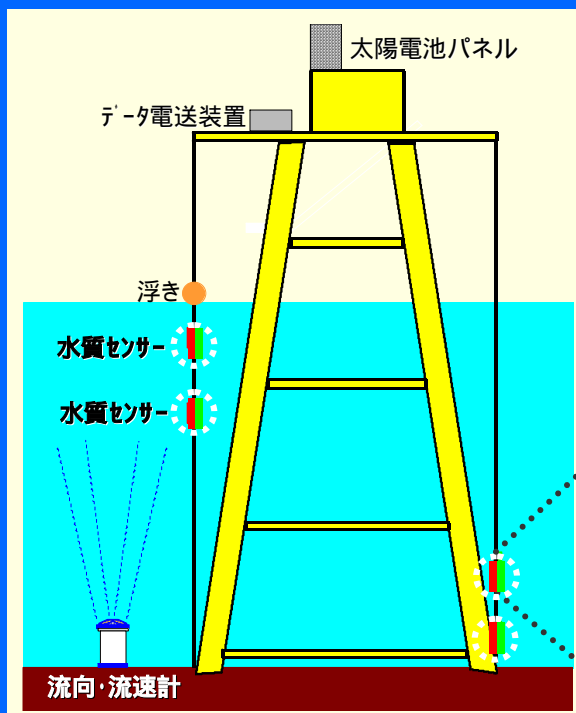
＜調査地点＞ 海域：193点
陸域：255地点

＜参加状況＞ 国、自治体の他
企業12社、2大学

モニタリングの内容の充実化

【平成20年度の主な取り組み】

水質連続測定実施へ向けた検討の実施【新規】



目的

汚濁機構解明、効率的・効果的施策展開の検討に向けた水質等の基礎データの取得



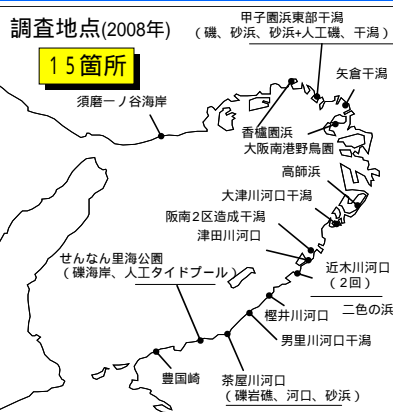
設置イメージ

市民参画によるモニタリング

【平成20年度の主な取り組み】

大阪湾沿岸に生息する生き物の調査により水環境を把握する「大阪湾(生き物)一斉調査」を市民と連携して実施【新規】

- ・実施日
平成20年6月21日
- ・主体：
大阪湾環境再生連絡会、
11市民団体
- ・参加者数：470名

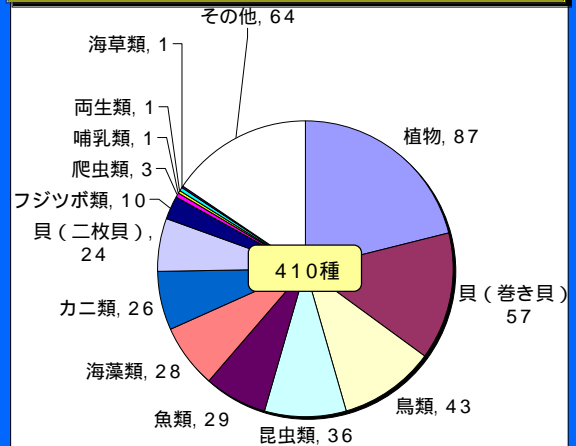


確認された貴重な生物(例)



ハクセンシオマネキ

確認された生き物の種類数(大阪湾全体)



- ・市民による調査で“410種”もの生き物を確認！
- ・ハクセンシオマネキなど貴重な生物も多く確認！

H20年度重点的検討課題への対応

【環境改善施策の効果把握(アウトカム指標の設定)】

大阪湾再生の効果を示し、かつ、市民等にもわかりやすい7つの指標を設定

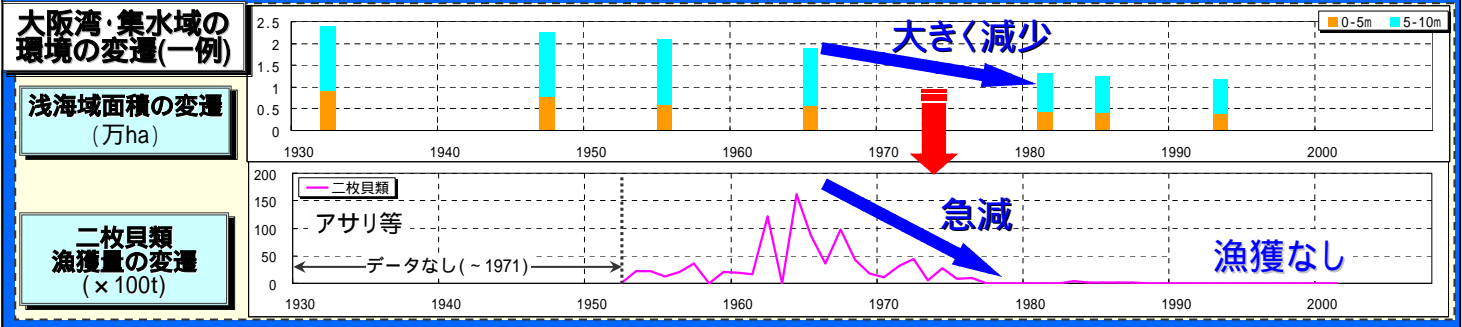
H21年度から評価を試行【新規】

アウトカム指標(案)

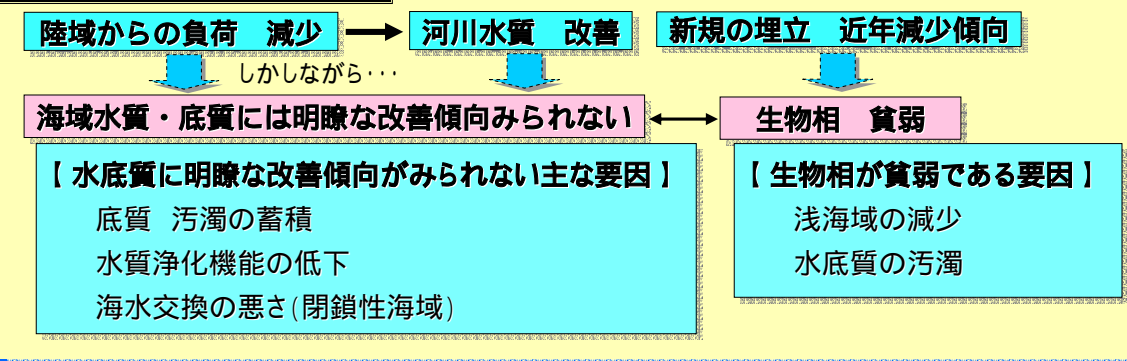
区分		具体的な目標	アウトカム指標(案)
多様な生物の生息・生育	質の改善	年間を通して底生生物が生息できる水質レベルを確保する	底生生物 海岸生物の生息状況
	場の整備	海域生物の生息に重要な場を再生する	(海岸生物の生息状況)
人と海との関わり	質の改善	人々の親水活動に適した水質レベルを確保する	透明度 赤潮の状況
	場の整備	人々が快適に海にふれ合える場を再生する	環境教育・学習の参加者数 大阪湾に対するイメージ クリーンアップキャンペーンへの参加者数
		臨海部での人々の憩いの場を確保する	
ごみのない美しい海岸線・海域を確保する			

【効率的・効果的な施策の展開(大阪湾の環境分析)】

効率的、効果的な施策展開の推進のため、大阪湾・集水域の現状・変遷の整理・分析、大阪湾水質や生物生息へ及ぼす影響の要因分析【新規】



大阪湾の水環境・課題とその要因



平成20年度の取り組み事例

【市民参画による
環境再生への取り組みについて】

拡大する市民参画の取り組み

【野洲川・大和川等で実施】
 (13) 水生生物調査

【滋賀県で実施】
 (14) 鴨川探検！再発見！
 (4) ボランティア団体等による森林づく
 (28) 草津川クリーン作戦、
 (29) 瀬田川クリーン作戦

【猪名川で実施】
 (17) 河川愛護セミナー
 (32) 環境美化推進の

【淀川で実施】
 (18) 河川愛護啓発キャンペーン
 (33) 淀川わんどクリーン大作戦、
 (34) 淀川クリーンキャンペーン

【木津川で実施】
 (15) ラブリバーキャンペーン 2008

【名張川・宇陀川で実施】
 (5) うだがわふれあい川づくり
 (30) 名張川クリーン大作戦
 (31) 宇陀川フェスタ2008

【奈良県で実施】
 (30) 河川の一斉清掃デー

【大和川流域で実施】
 (6) 大和川生活排水対策社会実験
 (35) 大和川・石川クリーン作戦、
 (36) 大和川クリーンデー
 (20) みんなのかっぱ教室、(21) 環境学習サポーター、(22) 水質改善講座、(23)【絵・ポスター・作文・写真】コンクール2008

【大阪湾一円で実施】
 (3) 大阪湾(生き物)一斉調査
 (25) 大阪湾漂流ゴミ及び成ヶ島漂着ゴミの実態調査
 (26) 大阪湾クリーン作戦

【赤穂市、明石市、田辺市等で実施】
 (1) 「なぎさ海道」アマモ場再生プロジェクト

【岸和田市、岬町で実施】
 (11) 大阪・和歌山ベイエリアキャラバン

【貝塚市、泉南市で実施】
 (12) 子ども交流会とフォーラ

(16) オオクワガタの棲める森づくり
 (24) 「うんぱく! 2008」
 (39) 「大阪湾フォーラム」
 (8) 兵庫連河真珠貝プロジェクト
 (9) ウミガメ・エコツーリズム
 (2) 南港生きもの育て隊アオサ取り
 (27) リフレッシュ瀬戸内
 (19) 一日水辺の楽校開校
 (10) 堺の海・再発見 ~ 自然体験学習 ~
 (7) 市民団体等による啓発活動

○ : 市民参画による環境再生への取り組み
 ● : 環境学習への取り組み
 ○ : 水辺に親しむ市民参画の企画
 ○ : 市民参画によるごみ対策
 ○ : 市民フォーラム

取り組み内容
 環境再生、環境学習、水辺に親しむ
 企画、ごみ対策、市民フォーラム

件数: 39件

大阪湾周辺各地で 多様な取り組み実施

堺の海・再発見 ~ 自然体験学習 ~

漁業操業の見学や生き物の
 観察から、堺の海を知ってもら
 うことを目的に地元漁業者と
 連携した環境学習会を開催

【実施日】平成20年10月19日(日)
 【主体】堺市、堺市漁業協同組合連合会、
 環境省、(社)瀬戸内海環境保全協会
 【捕獲された魚】タチウオ、クロダイ、
 ウミタナゴ、カサゴ、タケノコメバル、
 マルアジ、マアジ、マイワシ



タチウオ



【実施箇所】



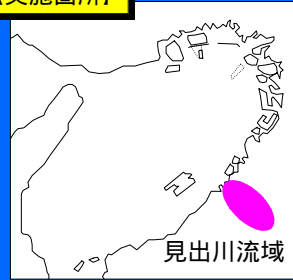
漁船に乗って大阪湾の環境と生物
 について体験的に学習

海底にすむ生き物の調査

見出川パネル展

水質汚濁が顕著な見出川 で水質改善、水循環への住民の関心を高め、市民団体間の連携を図るためのパネル展を開催

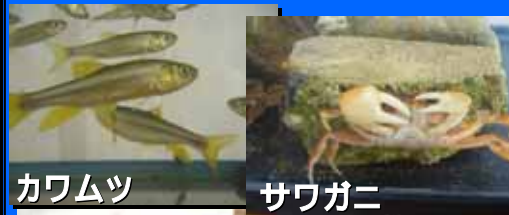
【実施箇所】



見出川(下流部の水質)
大阪府:ワースト1位
全国:ワースト4位

- 【実施日】平成20年10月19日(日)
- 【主体】見出川流域水循環再生協議会
- 【参加者数】700人
- 【内容】見出川マップづくり、見出川の簡易水質検査、見出川の生き物展示 等

わがまちの見出川を知ろう
見出川パネル展



カワムツ

サワガニ



見出川の生き物展示コーナー



見出川の水の簡易水質検査コーナー



こんな見出川に
なって欲しい、など

見出川マップづくり

大阪湾再生に関する広報

国際シンポジウムにおいて 大阪湾再生の取り組みを報告

日本近海における海洋環境保全 — 陸域対策のための研究パートナーシップ —
International Meeting for the Clean Water in our Northwest Pacific Sea
-Research Partnership for Land-Based Actions-

- 国際シンポジウム「日本近海における海洋環境保全」
陸域対策のための研究パートナーシップ
- 【開催日】平成21年1月27日(火)
- 【場所】京都大学百周年時計台記念会館
- 【主催】京都大学GCOE
「アジアメガシティの人間安全保障工学拠点」
国土交通省国土技術政策総合研究所
- 【後援】大阪湾再生推進会議
- 【発表者】ロシア、中国、韓国及び日本の研究者
- 【参加者数】約120名



「大阪湾再生の取組について」の報告



シンポジウムの様子

市民参加の取り組みを中心とした報道状況

平成20年4月～平成21年2月までの約1年間の大阪湾再生関係の報道については、行政と市民・NPOなどの協働の取り組みが注目され、以下のとおりであった。

【テレビ放映等の状況】

・テレビ等による報道については、テレビ放映6件、ラジオ放送1件の計7件。

【新聞、雑誌等】

・新聞等の報道については、以下の計50件。

朝日新聞3件、読売新聞12件、毎日新聞5件、日本経済新聞1件、産経新聞1件、大阪日日新聞1件、神戸新聞4件、京都新聞5件、わかやま新報2件、奈良新聞6件、奈良日日新聞2件、中日新聞1件、徳島新聞1件、日刊建設工業1件、日刊建設通信1件、環境新聞1件、林業経済新聞1件、朝日小学生新聞1件、web版釣りマガジン釣りサンデー1件

新聞記事

「大和川 水質ワースト返上」

NPOや企業が協働
清流 大和川の挑戦
大和川清流復活ネットワーク

大和川水質ワースト返上
4年ぶり見通し
下水道普及など効果

大和川を美しい流れに
大阪で市民講演やパネル討論

奈良新聞
平成21年1月29日(木)

読売新聞 平成21年1月8日(木)

新聞記事

「友ヶ島をきれいに 官民一体でクリーン作戦」

大阪湾から発生する漂着ゴミが問題となっている友ヶ島で清掃活動「友ヶ島ビーチクリーン2008」を実施
(大阪湾クリーン作戦)

友ヶ島をきれいに
官民一体でクリーン作戦

大阪湾から発生する漂着ゴミで問題となっている友ヶ島で15日、ゴミは300袋、7トンのぼった。また「友ヶ島灯台の一般開放」や「海保キヤラクター」「うみまをうらなふ」などの記念撮影も行った。大阪湾クリーン作戦の「友ヶ島ビーチクリーン2008」の一環で、市民ボランティアのほか「環境レクイエム」や「ネイチャーウォッチ」などの団体も参加した。友ヶ島の沖に「まもぎ餅の配り」や「まもぎ餅の配り」などの記念カードも配布された。また「まもぎ餅の配り」などの記念カードも配布された。



集められたゴミの山

わかやま新報 平成20年6月18日(水)